

＜2050 年ネットゼロに向けた目標＞

株式会社日立産機システムおよびグループ会社(以下、当社グループ)は、2050 年バリューチェーン全体のネットゼロ目標を設定しています。この目標は、株式会社日立製作所およびその子会社および関連会社(以下、日立グループ)の環境長期目標「日立環境イノベーション 2050」における「脱炭素」の目標に含まれるものです。

当社グループの目標は個別の検証を受けていませんが、日立グループ全体の 2050 年ネットゼロ目標に関しては、SBTi(Science Based Targets initiative)より認定されています。

＜2030 年カーボンニュートラルに向けた目標＞

当社グループを含む日立グループは、2030 年カーボンニュートラル達成(Scope 1^{※1} および 2^{※2} の温室効果ガス(GHG)排出量実質ゼロ)を設定しています。

＜2024 年度における温室効果ガス排出量＞

当社グループは、持続可能な未来をめざし、2024 年度においてカーボンニュートラル (Scope 1 および 2 の GHG 排出量実質ゼロ) を達成しました。この達成は、上述の日立グループの 2030 年カーボンニュートラルに向けた目標を前倒して達成するものです。当社グループ全体の Scope 1 および 2 の GHG 排出量の 95%以上^{※3}を占める国内外の事業所、工場、サービスステーション、オフィスなど 54 サイト^{※4}において、以下のように削減を行いました。

2024 年度 日立産機グループ Scope 1 および 2 GHG 排出量削減 [kt-CO ₂ e]	
1) 削減施策	
省エネルギー施策	0.7
再生可能エネルギー設備の導入	2.0
社外からの再エネ電力(購入および証書)の調達	30.5
2) オフセット	
カーボンクレジットの調達 ^{※5}	13.9

<排出量算定方法>

当社グループおよび日立グループは、WBCSD(持続可能な開発のための世界経済人会議)が開発した GHG プロトコルに準拠した ISO14064-1、環境省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照した排出量算定方法に従い、GHG 排出量を算定しています。

当社グループ全体の GHG 排出量算定データに関する個別の保証は受けていませんが、日立グループの Scope 1 および 2 の GHG 排出量の算定データは、「日立サステナビリティレポート」に記載されている通り、第三者保証を受けています。

<進捗管理>

当社グループは、下図に示すように、計画の策定と実績の収集を通じて、GHG 排出量削減の目標達成に向けた取組みを進めています。

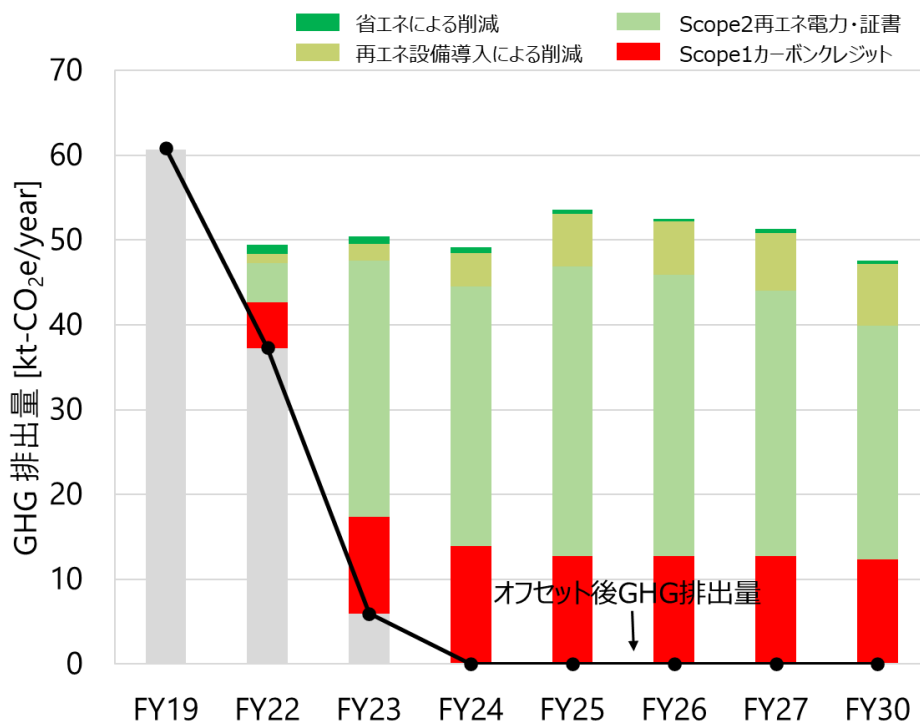


図 Scope 1 および 2 の GHG 排出量の推移

- ※1 Scope1：自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出
(非エネルギー起源 GHG (SF₆、PFC、HFC、N₂O、NF₃、CH₄) 排出を含む)
- ※2 Scope2：自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出
(電力使用量からの CO₂ はマーケット基準で算定)
- ※3 SBTi CORPORATE NET-ZERO STANDARD CRITERIA Version 1.2 March 2024, P8
Emission coverage *C5

※4 カーボンニュートラル算定対象サイト

<日本国内>

1	日立産機システム 習志野事業所
2	日立産機システム 中条事業所
3	日立産機システム 多賀事業所
4	日立産機システム 清水事業所
5	日立産機システム 相模事業所
6	日立産機システム 勝田事業所
7	日立産機システム 土浦事業所
8	日立産機システム 本社
9	日立産機システム 東北支社
10	日立産機システム 秋田 SS
11	日立産機システム 八戸 SS
12	日立産機システム 福島 SS
13	日立産機システム 北海道支社
14	日立産機システム 茜浜事業所
15	日立産機システム 門仲事務所
16	日立産機システム 埼玉事業所
17	日立産機システム 栃木 SS
18	日立産機システム 高崎 SS
19	日立産機システム 茨城 SS
20	日立産機システム 筑波 SS
21	日立産機システム 横浜 SS
22	日立産機システム 新潟 SS
23	日立産機システム 甲信 SS
24	日立産機システム 北陸支社
25	日立産機システム 中部支社
26	日立産機システム 静岡 SS
27	日立産機システム 姫路 SS
28	日立産機システム 京滋 SS
29	日立産機システム 関西支社
30	日立産機システム 四国支社
31	日立産機システム 中国支社
32	日立産機システム 岡山 SS
33	日立産機システム 山陰 SS
34	日立産機システム 山口 SS

35	日立産機システム 九州支社
36	日立産機システム 北九州 SS
37	日立産機システム 南九州 SS
38	日立産機システム 新居浜 SS
39	日立産機システム 熊本 SS
40	日立ケーイーシステムズ
41	日立産機ドライブ・ソリューションズ

<海外>

1	Hitachi Global Air Power US, LLC
2	日立圧縮機(苏州)有限公司
3	南京日立産機有限公司
4	HITACHI INDUSTRIAL TECHNOLOGY (THAILAND), LTD.
5	HITACHI INDUSTRIAL EQUIPMENT (MALAYSIA) SDN. BHD.
6	日立圧縮機(常熟)有限公司
7	HITACHI SOE ELECTRIC & MACHINERY CO., LTD.
8	TELESIS TECHNOLOGIES, INC.
9	Hitachi Global Air Power Australia Pty Ltd.
10	HITACHI INDUSTRIAL EQUIPMENT & SOLUTIONS AMERICA, LLC Chicago, IL
11	HITACHI INDUSTRIAL EQUIPMENT & SOLUTIONS AMERICA, LLC Charlotte, NC
12	HITACHI INDUSTRIAL EQUIPMENT & SOLUTIONS AMERICA, LLC Ontario, CA
13	HITACHI INDUSTRIAL EQUIPMENT & SOLUTIONS AMERICA, LLC Belle Oaks Ink Facility

※5 適用したカーボンのクレジットの詳細

Name of the entity selling the offset (Section 44475.1(a))	Offset registry (Section 44475.1(a))	Offset Project Number (Section 44475.1(b))	Offset Project Name (Section 44475.1(c))	Project Type - Removal or Avoided Emissions (Section 44475.1(d))	Site location (Section 44475.1(d))	Specific Protocol Used (e.g., methodology used) (Section 44475.1(e))	Third-Party Verification (Section 44475.1(f))	Project Status & Relevant Updates
Sumitomo Corporation	Verra	1865	Xiquan Afforestation Project in Guizhou Province	Removal	China	AR-ACM0003	Yes	プロジェクトステータス:On hold 理由：プロジェクトは、ステークホルダーの要請を受けてVerraレジストリで審査中です。審査の結果によっては、クレジットの置き換えが必要になる可能性があります。
Sumitomo Corporation	Verra	2083	Liangdu Afforestation Project	Removal	China	AR-ACM0003	Yes	プロジェクトステータス:Withdrawn 理由：プロジェクトは、中国の国家炭素プログラム（中国認証排出削減 - CCER）への移行に伴い、Verraレジストリから削除されました。
World Kinetic Energy Services	Verra	959	'Guanaré' Forest Plantations on degraded grasslands under extensive grazing	Removal	Uruguay	AR-ACM0001	Yes	プロジェクトステータス:Registered